

斜面崩壊による災害観測を可能とするIoT観測機器の開発（H30～32）

背景・目的

日本工営株式会社
と実施
フィールド試験
を視野に

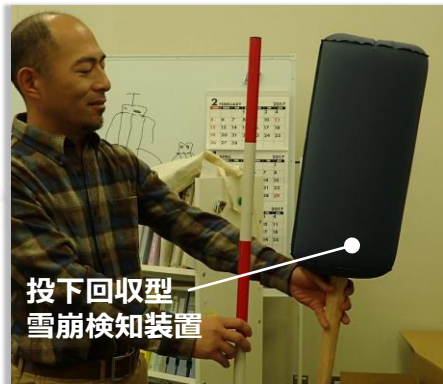


土砂災害
監視装置
としての
展開

雪崩
監視装置
の実証試験

山梨県
富士山科学研究所と実施

幅広い分野で利用可能な自然災害
観測装置への新たな展開をスタート



投下回収型
雪崩検知装置

山梨県産業技術センター
が主幹事として取り組む

高機能化への挑戦

～長期計測対応に向けた開発～



太陽光
発電システム
の搭載



通信等の
最適制御による
効率化

～映像による
情報収集機能
の搭載～



日本工営
JPMエー
テクノレッジシステム
京セラ
の4社と実施

研究内容

事業費： 13,000 千円

1年目

- ・自然災害観測装置の実証試験現場の事前調査
- ・自然災害観測装置の高機能化に係るハードウェア試作・開発
- ・自然災害観測装置のソフトウェアの製作
- ・多地点観測・長期観測のための観測機器の量産（6台を予定）
【経費：4,077 千円】

2年目

- ・自然災害観測装置による雪崩監視の実証試験
- ・自然災害観測装置による土砂災害監視の実証試験
【経費：5,658 千円】

3年目

- ・自然災害観測装置による雪崩監視の実証試験
- ・自然災害観測装置による土砂災害監視の実証試験
【経費：3,265 千円】

期待される効果

自然災害観測装置の製品化

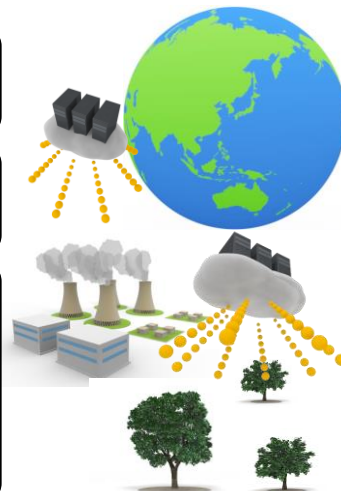
- 特許の実施許諾による収入
- 自然災害を未然に防ぐための対策向上

災害原因解明のためのデータ収集

- 防災分野における研究に貢献
- 山間部住民や観光客の安全確保

IoT製品開発の技術向上と促進

- 産技連携による技術の蓄積により中小企業を支援
- ビッグデータ・AI等、関連技術の研究を促進
 - ・屋外で長期間の映像データ収集が必要となるもの
- 農業データ連携基盤の構築による育成予測・高品質化
 - ・果樹の最適栽培のための広域データ収集とAI解析
 - ・鳥獣害対策のための無線電広域エリア監視システム
- 製造現場における情報のクラウド化（industry4.0）
 - ・多様なデータ集積と映像監視による生産現場の管理



ダイナミックやまなし総合計画との関連性 2 基幹産業発展・創造プロジェクト【政策4】中小企業の成長と持続的な発展

研究機関：産業技術センター、共同研究：富士山科学研究所、日本工営株式会社、株式会社コスモウェイ、テクノレッジシステム株式会社、京セラ株式会社